

## 東京2020大会の文化プログラムを契機とした文化力向上事業【一部新規】

予算額 48,000千円 (H30 23,992千円)

(債務負担行為 222,000千円)

### 1 事業の目的・概要

東京2020大会の機運を醸成するとともに、本県の魅力を県内外に発信し、文化振興と地域の活性化を図るため、※東京2020文化オリンピックの一環として、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。

※東京2020文化オリンピック

オリンピック憲章に基づいて組織委員会が国や開催都市等と連携して行う文化の祭典

### 2 主な事業内容

#### (1) 千葉・県民音楽祭実施事業 13,850千円

東京2020大会開催に向けて、プロの音楽家と一般公募の県民による参加型コンサートを実施します。

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	オーケストラ・障害者ステージ 等	オーケストラ・障害者ステージ・合唱 等	オーケストラ・障害者ステージ・合唱・ダンス 等
時期	平成31年3月2日(土)大会500日前	平成31年8月25日(日)大会1年前	平成32年6月21日(日)大会1か月前
会場	千葉県文化会館		

#### (2) ちばアート祭実施事業 26,472千円 (債務負担行為 222,000千円)

東京2020大会開催に向けて、「ちば文化資産」を活用した「ちばアート祭」を実施します。

また、平成32年度の大会期間中に開催するアート祭の準備を進めるため、債務負担行為を設定します。

年度	平成31年度	平成32年度
内容	絵画・写真展、ワークショップ 等	絵画・写真展、ワークショップ デジタルアート 等
時期	平成31年8月14日(水)～8月25日(日)	平成32年8月～9月
会場	千葉市(県立美術館及び千葉ポートパーク)	千葉市及び香取市での同時開催

#### (3) 千葉からはばたく新世代アート展実施事業【新規】 3,500千円

新たなアート分野に取り組む本県ゆかりの新進芸術家の作品展を開催します。

[会場等] 県立美術館(時期:平成31年7月～9月の予定)

[内容] デジタルアート作品の展示、ワークショップ(展示作品の制作等)

#### (4) ちばミュージアムフェスタ実施事業【新規】 2,500千円

オリンピック・パラリンピックをテーマとした巡回展を実施します。

[会場等] 博物館、商業施設等(時期:平成31年8月～平成32年3月の予定)

[内容] 巡回展示、体験イベント、講演

担当課・問い合わせ先

環境生活部県民生活・文化課 043-223-4160

教育庁教育振興部文化財課 043-223-4127

# 障害者芸術文化活動支援事業【新規】

予算額 7,028千円

## 1 事業の目的・概要

障害のある人の自立と社会参加の促進を図るため、障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動（美術及び舞台芸術）を支援する「障害者芸術文化活動支援センター」を設置します。

## 2 事業内容

### (1) 事業所等に対する相談支援

事業所等から支援方法、創造環境の整備、権利の保護、鑑賞支援、作品の販売・公演、記録・保存、地域・国際交流等に関する相談を受け付け、関係機関や専門家の紹介や専門的知見によるアドバイス等を行います。

### (2) 芸術文化活動を支援する人材の育成

芸術文化活動を支援する者等に対して、芸術文化活動の支援方法、著作権等の権利保護、障害特性への理解等に関する研修や、現場体験プログラムの提供などを行い、人材の育成及び確保を図ります。

### (3) 関係者のネットワークづくり

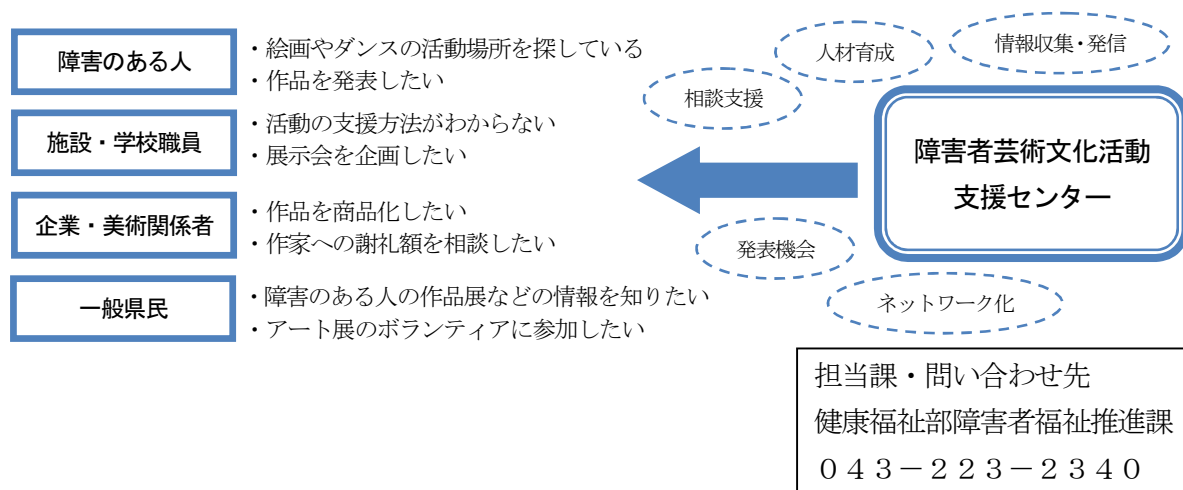
芸術文化活動を支える人材が連携・協力し、多角的な面から支援の在り方が考えられるよう、障害のある人やその家族、福祉や芸術等の専門家、事業所や文化施設の職員、行政職員、教育関係者、研究者など、分野や領域を超えてさまざまな関係者とネットワークを築きます。

### (4) 発表等の機会の創出

地域における障害のある人の活躍の場を拡げ、地域のさまざまな人々との交流が促進されるよう、専門家等と連携を図り、質の高い芸術文化活動につながる展示会、体験プログラム、公演等を開催し、障害のある人の表現活動の発表等の機会を創出します。

### (5) 情報収集・発信

展示会や公演などのイベント情報、芸術文化活動の実態把握、作品・作者に関する発掘など、千葉県内の芸術文化活動の情報を収集・発信します。



# 東京2020大会に向けた機運醸成・県内開催競技支援事業【一部新規】

予算額 62,000千円 (H30 40,048千円)

## 1 事業の目的・概要

本県で開催されるオリンピック競技及びパラリンピック競技について、競技観戦や体験イベント等を通して競技への理解を深めるとともに、県内公立中学校において、中学2年生を対象としてJOCオリンピック教室を開催します。

## 2 事業の内容

### (1) 県内開催競技観戦・応援促進事業【新規】 15,200千円

児童・生徒等を対象に、県内で開催する各種国際大会の観戦及び事前・事後学習支援を実施します。

- ・小中学校、特別支援学校等のうち24校程度
- ・教員への研修、学習用教材の作成や観戦時の競技解説等を実施

### (2) 本県開催競技の普及・機運醸成イベント実施 29,384千円

県民の日行事における体験会や大会1年前イベント、学校訪問等を実施します。



県民の日行事における体験会（サーフィン）



学校訪問（フェンシング）

### (3) おもてなしCHIBA プロジェクト推進事業 14,476千円

九十九里・外房地域16市町村と連携したビーチクリーン活動や、2020大会開催時にサーフィン会場周辺等をひまわりで彩るための準備を進めます。



ビーチクリーン活動



保育所園庭でのひまわりの種まき

### (4) JOCオリンピック教室の実施 2,140千円

オリンピック出場経験アスリート（オリンピック）が教師役となり、自身の様々な経験を通してオリンピックの価値等を伝える授業を行います。

担当課・問い合わせ先

環境生活部オリンピック・パラリンピック推進局

事前キャンプ・大会競技支援課

043-223-2431

## 障害者スポーツ振興事業【一部新規】

予算額 40,055千円 (H30 34,000千円)

### 1 事業の目的・概要

障害者スポーツの理解促進を図るとともに、障害のある人が県内のすべての地域でスポーツに親しめる環境の拡充を図ります。

### 2 事業内容

#### (1) パラ「旅」応援事業【新規】 9,800千円

障害者スポーツの振興及び障害のある人の社会参加を促進するため、学生ボランティア等と連携し、移動に困難を伴う障害のある人の国際大会の観戦等を支援します。

#### (2) 障害者スポーツ交流大会 1,500千円

企業チームと障害のある人のチーム等が交流試合を実施し、障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図ります。

#### (3) パラスポの「輪」フォーラム【新規】 2,680千円

多くの県民・企業・大学・事業者がパラリンピックの理念を共有し、機運を盛り上げるため、関係機関を巻き込んだフォーラムを開催します。

#### (4) 障害者スポーツ競技団体支援事業【新規】 15,000千円

障害者スポーツの活性化を図るため、県内の障害者スポーツ競技団体の体制整備や体験会等の開催に係る取組に対して助成を行います。

#### (5) 障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣 9,200千円

県内にコーディネーターを派遣し、市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取組むように促します。

#### (6) 障害者スポーツ指導者養成 1,875千円

障害者スポーツ指導員の研修会を開催し、障害者スポーツの指導者の養成を図ることで、障害のある人が気軽に、どこでも障害者スポーツの指導を受けることができるような環境を整備します。



千葉県障害者スポーツ交流大会

担当課・問い合わせ先  
健康福祉部障害者福祉推進課  
043-223-2340

# 外来種特別対策事業

予算額 112,824千円 (H30 106,662千円)

## 1 事業の目的・概要

特定外来生物のうち、生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれがあり、特に対策が必要なキョン、アカゲザル、カミツキガメ、アライグマ等について、生息数の減少を目指し、生息状況調査や計画的な防除を実施します。

## 2 主な事業内容

### ○キョン 20,649千円 (H30 17,966千円)

生息数の多い地域に加え、分布の外縁部においても捕獲を強化することで、分布の拡大を防止するとともに、専門職員による自動撮影カメラ等を用いた生態調査や効果的な捕獲方法の開発をとおして、生息数の低減を図ります。

〔防除実施地域〕 夷隅地域及びその周辺地域、分布の外縁部

### ○アカゲザル 53,281千円 (H30 49,469千円)

ニホンザルの地域個体群の保護及び農業被害等の防止のため、アカゲザルを捕獲します。これまでの生息状況調査の結果、新たに行動範囲が把握できた群れの捕獲を行うため、大型囲いわなを増設します。

〔防除実施地域〕 房総半島南部

### ○カミツキガメ 34,513千円 (H30 34,050千円)

「カミツキガメの根絶に向けた基本戦略」のロードマップを踏まえ、これまでに多数の生息が確認された水田周辺の水路等を中心に、集中的な捕獲に取り組みます。

また、防除事業を通じて得られた、詳細な生息状況、効率的なわなの設置方法等を踏まえ、根絶に向けた効果的な捕獲方法について検討します。

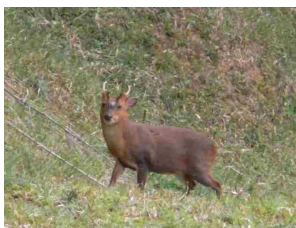
〔防除実施地域〕 印旛沼水系

### ○アライグマ 4,181千円 (H30 4,977千円)

生態系や農業等への被害防止を図るため、捕獲を行うとともに、アライグマ防除に関する普及啓発、捕獲技術向上のため講習会等を開催します。

〔防除実施地域〕 県内全域

キョン



アカゲザル  
(池田文隆氏撮影)



カミツキガメ



アライグマ



担当課・問い合わせ先

環境生活部自然保護課 043-223-2975

## 湖沼における外来水生植物対策事業【新規】

予算額 10,000千円

### 1 事業の目的・概要

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物が、印旛沼及び手賀沼とその流域河川で急速に繁殖しており、水質・生態系などへの影響や、農業・漁業被害、景観悪化などが懸念されることから、繁茂状況の調査や管理手法の検討を行い、検討結果をもとに、市民団体等との連携・協働による計画的な駆除等を進めます。

### 2 平成31年度の事業内容

#### (1) 水生植物繁茂状況等調査

手賀沼をモデルに、衛星写真の解析や現地調査などから、手賀沼と流域河川における水生植物の分布状況、過年度調査との比較、オオバナミズキンバイの侵入状況、治水・利水上の障害の発生状況などを把握します。

#### (2) 効果的な駆除方法や持続的・継続的な管理手法の検討

(1)の調査結果をはじめ、過去の駆除実績や他の事例等の情報収集、専門家へのヒアリングなどをもとに、群落ごとの駆除の緊急度、駆除方法、実施体制、モニタリング方法など、効果的な外来水生植物の駆除等に資するための持続的・継続的な管理手法や経費について、印旛沼への適用も視野に入れながら検討を行います。

#### (3) 市民団体等への支援方策の検討

市民団体等による自主的かつ継続的な駆除等の実施を可能とするために必要な支援方策について検討を行います。



手賀沼におけるナガエツルノゲイトウの繁茂状況  
(北千葉導水ビジターセンター付近)

担当課・問い合わせ先

環境生活部水質保全課 043-223-3814

# 再生土埋立等適正化事業【一部新規】

予算額 17,886千円 (H30 8,573千円)

## 1 事業目的・概要

建設汚泥等の産業廃棄物を処理した土砂状の埋立資材である「再生土」について、再生土の埋立てによる崩落等の災害や周辺環境への悪影響が発生している事例があります。

そこで、再生土の埋立て等の適正化を図るため、廃棄物処理法及び再生土条例に基づき、埋立現場への立入検査、土壌や水質の分析等を行います。

## 2 事業の内容

### (1) 廃棄物処理法に基づく土壌検査 14,844 千円

有効な土地利用を伴わない埋立てや、土砂状以外のもの（廃棄物）が混入した埋立てなど、埋立てられた再生土に有害物質が含まれる恐れが認められる場合は、廃棄物処理法に基づく指導等のため土壌の分析検査を行います。

### (2) 再生土条例に基づく検査等【新規】 3,042 千円

再生土条例では、崩落等の防止に関する基準、環境影響に関する基準（アルカリ・塩化物）を定め、埋立てを行う者にその順守を義務づけています。

再生土の埋立てによる崩落等の災害発生やアルカリ・塩化物による周辺環境への悪影響が生ずる恐れが認められる場合は、立入検査を行い、再生土の埋立現場から周辺に流出する水についてアルカリ・塩化物の分析等を行います。また、これらを行う体制を整えるため、必要な検査機器等の準備をします。



土壌の検査（採取状況）



立入検査（測量状況）

担当課・問い合わせ先  
環境生活部廃棄物指導課  
043-223-2757